

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	本谷 貴 伊藤 循 真柴 晶彦 角田 展子 門脇 雅子 日下部 公昭	使用教科書「歴史総合 近代から現代へ」 (山川出版社) 補助教材 「新詳日本史」 (浜島書店) 「グローバルワイド 最新世界史図表」 (第一学習社)
○必修 学校必修 必修選択 自由選択		

#### ◆学習の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

#### ◆主な学習内容・方法

- (1)「歴史の扉」「近代化と私たち」「国際秩序の変化や大衆化と私たち」「グローバル化と私たち」について多面的・多角的に考察し、生徒が問いを表現する。
- (2)教科書と授業プリントを中心教材として、随時副教材を使用しながら主として講義形式で学習する。

#### ◆到達目標と観点別評価の評価規準

##### 〔標準〕

- ・近現代の歴史的諸事象の内容を正確に理解し、時系列上での確に把握する。
- ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現できる。

##### 〔応用〕

- ・現代に至る過程を多角的な視野で理解することで、現在における諸問題を考察する糧とする。

##### 〔観点別評価の評価規準〕

##### ○知識・技能

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。

##### ○思考・判断・表現

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、水位、皮革、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身につけている。

##### ○主体的に学習に取り組む態度

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を身につけている。

#### ◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期 ( 70 時間)
------	-------	---------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習…教科書の「問い」に着目しつつ、事前に通読する。
- ・復習…板書ノートと教科書・「グローバルワイド 最新世界史図表」等を関連させて、整理する。
- ・課題…「問い」を自分で解く。演習プリントを適時行う。
- ・その他…補習や夏季補習も授業と関連させて、活用することを勧める。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	歴史の扉	2	①歴史と私たち 日本と洋菓子 ②歴史の特質と資料 台湾における砂糖の生産	高校の歴史学習への動機づけ と以後の学習に必要な歴史学習 の基本的な技能や学び方を身に つける。
		近代化への問い	2	交通と貿易／産業と人口／権利意識と政治参加 や国民の義務／学校教育／労働と家族／6 移民	産業社会と国民国家の形成を 背景として、人々の生活や社会の 在り方が変化したことを扱い、世 界とそこにおける日本を広く 相互的な視野から捉えて考察し、 現代的な諸課題の形成に関わる 近代化の歴史を理解できるよう にする。
		近代化と私たち	1 8	・結びつく世界 ・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・明治維新と日本の立憲体制 ・帝国主義の展開とアジア	
		近代化と現代的な 諸課題	2	自由・制限／開発・保全	
	5	国際秩序の変化や 大衆化への問い	2	国際関係の緊密化／アメリカ合衆国とソ連の台 頭／植民地の独立／大衆の政治的・経済的・社 会的地位の変化／生活様式の変化	政治、外交、経済、思想や文化 などの様々な面で国際的な結び 付きが強まり、国家間の関係性が 変化したことや個人や集団の社 会参加が拡大したことを背景と して、人々の生活や社会の在り方 が変化したことを扱い、世界とそ の中における日本を広く相互的 な視野から捉えて考察し、現代的 な諸課題の形成に関わる国際秩 序の変化や大衆化の歴史を理解 できるようにする。
		国際秩序の変化や 大衆化と私たち	1 8	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦 ・戦後の国際秩序と日本の改革	
	6	国際秩序の変化や 大衆化と現代的な 諸課題	2	対立・協調／平等・格差／統合・分化	
		グローバル化への 問い	2	冷戦と国際関係／人と資本の移動／高度情報通 信／食料と人口／資源・エネルギーと地球環境 ／感染症／多様な人々の共存	科学技術の革新を背景に人・商 品・資本・情報等が国境を越えて 一層流動するようになり、人々の 生活と社会の在り方が変化した ことを扱い、世界とそこにおけ る日本を広く相互的な視野から 捉えて考察し、現代的な諸課題の 形成に関わるグローバル化の歴 史を理解できるようにするとと もに、考察、構想して探究し、現 代的な諸課題を理解できるよう にする。
		グローバル化と私 たち	1 8	・冷戦と世界経済 ・グローバル化する世界 ・現代の課題	
	7	現代的な諸課題の 形成と展望	4	これまでの学習を踏まえ、持続可能な社会の実 現を視野に入れ、生徒が自ら主題を設定する	
					主題について多面的・多角的に考 察、構想し、現代的な諸課題を理解 する。